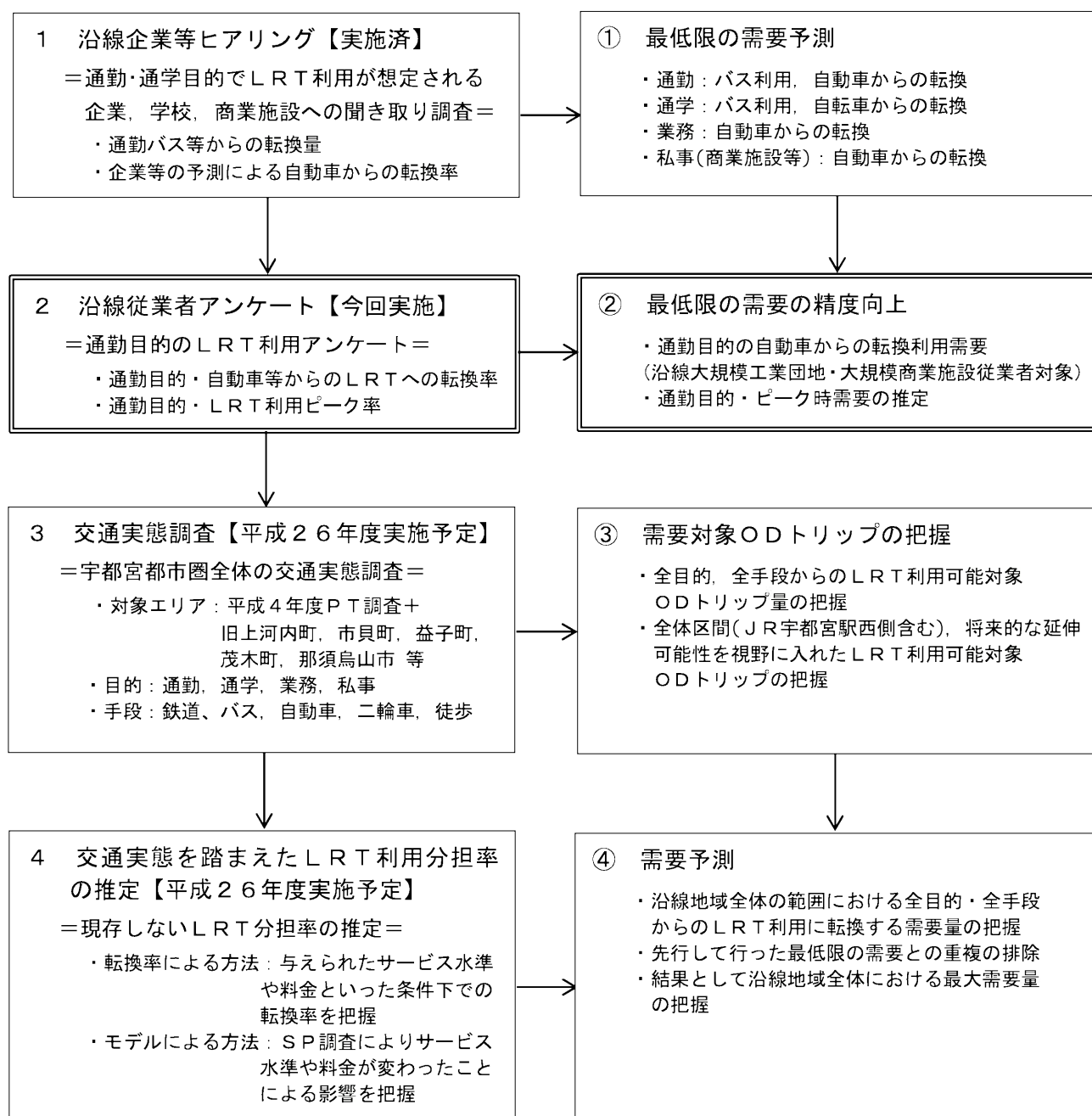


従業者アンケート調査について

< 調査 >

< 需要予測 >



【沿線従業者アンケート(今回実施)の対象範囲】

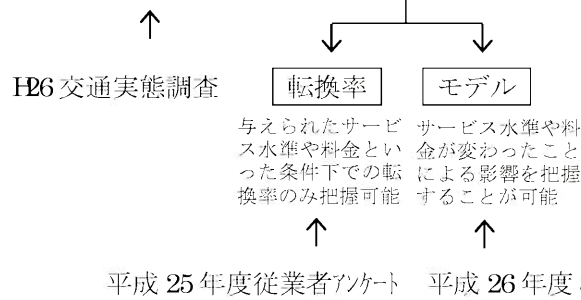
		交通手段					
		既設					新設
		鉄道	バス	自動車	二輪車	徒歩	LRT
目的種類	通勤	工業団地事業所,ベルモールの従業者のみ(居住地分布は不明)					
		工業団地事業所,ベルモールの従業者以外のODペアは含まれない					
	通学	通学目的は含まれない					
	業務	業務目的は含まれない					
	私事	私事目的は含まれない					
帰宅		上記対象者の帰宅					
		上記対象者以外の帰宅					

【交通実態調査(平成26年度実施予定)の対象範囲】

		交通手段					
		既設					新設
		鉄道	バス	自動車	二輪車	徒歩	LRT
目的種類	通勤	ある特定の1日の交通実態を把握するため、 現存する交通手段を網羅的に把握					LRT等 現存しない 交通手段は 把握できない
	通学						
	業務						
	私事						
	帰宅						

【LRT利用者数の推定】

$$\text{LRT利用者数(トリップ)} = \text{OD(トリップ)} \times \text{LRT分担率(\%)}$$



転換率による予測	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート, 料金, 運行頻度等の前提条件が既に定まっている場合に有効だが, 人口構成の変化や延伸計画, 前提条件の変化には一切対応できない。 ・条件が定まっているため, 回答者も現存しない交通手段に対して比較的イメージしやすい。
モデルによる予測	<ul style="list-style-type: none"> ・ルート, 料金, 運行頻度等の前提条件が定まっていない場合は, 条件変更による影響を把握することができるため, 運行計画の検討に活用可能。 ・複数の交通手段についての条件(料金, 時間等)を提示して回答してもらうため, 回答者が現存しない交通手段に対してイメージしにくく, 過大評価になることもある。

1 調査の考え方

① 具体的な根拠資料の必要性

先行して行った企業ヒアリングにより、企業バス利用者及び自動車からの転換可能性について概括的に把握したが、特許取得のためには従業員の自動車等からの転換量について、具体的な根拠資料が必要となる。

② 全手段からの転換可能性の把握

沿線地域の清原工業団地及びベルモール並びに芳賀工業団地、芳賀高根沢工業団地の従業員を対象に、全従業員に対し、自動車等の全手段（自動車、バス、オートバイ等）からの転換可能性について把握するためアンケート調査を実施する。

③ 距離帯別の転換可能性の把握

従業員アンケートによって、従業員の居住地からLRTの停留場までの距離と転換意向との関係を把握することにより、距離帯別転換率曲線を作成し、LRT沿線に存在するその他の企業従業員の転換可能量の推定に役立てる。

④ ピーク率の把握

従業員アンケートによって全従業員の通勤時間帯を把握することにより、現状の通勤のピーク率を把握し、LRTのピーク時需要量の推定の参考資料とする。

2 調査の対象（清原工業団地，ベルモール，芳賀工業団地，芳賀高根沢工業団地

(1) 清原工業団地

全従業員 約11,000人

表 清原工業団地立地事業所

No.	企業名	工場名	従業員(人)
1	キャノン株	宇都宮工場	1,652
2	キャノン株	宇都宮光学機器事業所	1,487
3	キャノン株	光学技術研究所	1,030
4	カルビー株	新宇都宮工場	615
5	中外製薬工業株	宇都宮工場	469
6	日本たばこ産業株	北関東工場	427
7	清原住電株		400
8	大徳食品株	宇都宮事業所	400
9	エム・イー・エム・シー株	宇都宮工場	376
10	デュボン株	宇都宮事業所	352
11	マニー株	清原工場	352
12	住友ベークライト株	宇都宮工場	323
13	株長府製作所	宇都宮工場	298
14	栃木住友電工株		286
15	日圧電子部品株	宇都宮工場	251
16	株マルハニチロ食品	化成食品事業部・宇都宮工場	243
17	帝人デュボンフィルム株	宇都宮事業所	240
18	カルソニックカンセイ宇都宮株		237
19	オイシア株	清原工場	196
20	株ムロコーポレーション	清原工場	182
21	宮島醤油株	宇都宮工場	175
22	株ミツトヨ	清原工場	162
23	久光製薬株	宇都宮工場	146
24	東京製鐵株	宇都宮工場	130
25	石川ガスケツト株	清原工場	120
26	日本ペイント株	栃木工場	116
27	東京応化工業株	宇都宮工場	90
28	清水鋼鐵株	宇都宮製作所	49
29	住友電工産業電線株	宇都宮工場	44
30	新陽工業株		43
31	ロックペイント株	宇都宮工場	41
32	エア・ウォーター株	宇都宮工場	40
33	宇都宮化工株		39
34	エスベック株	宇都宮テクノコンプレックス	32
35	日本山村硝子株	宇都宮工場	21
36	三菱電線工業株	宇都宮工場	19
37	栃木県トラック運送事業(協)		2
合計			11,055

注) 上表は栃木県産業団地立地企業一覧(平成24年度版)を基に作成
企業の並びは従業員数の多い順

(2) ベルモール

全従業員 約2,000人

(3) 芳賀工業団地・芳賀高根沢工業団地

全従業員 約21,000人

表 芳賀工業団地立地事業所

No.	企業名	工場名	従業員(人)	No.	企業名	工場名	従業員(人)
1	ホンダエンジニアリング株		2,948	51	山崎設備株	宇都宮営業所	21
2	株ピーエスジー		1,396	52	エムティープラス株		20
3	本田技研工業株	品質改革センター栃木	835	53	フクエイ工業株	関東営業所・工場	20
4	ホンダ開発株	栃木事業部	698	54	都運送株	芳賀営業所	20
5	山王テック株	東日本事業所	318	55	フルサト工業株	宇都宮営業所・工場	18
6	株ショーワ	4輪開発センター	264	56	山本建設株	東部事務所	17
7	株エフテック	テクニカルセンター	208	57	エヌケイエンジニアリング株	栃木事業所	16
8	東洋ビューティ株	宇都宮工場	196	58	株オークコーポレーション		15
9	ジェーピーエス製薬株	栃木工場	142	59	株丸順	技術研究所	15
10	鴻池メディカル株	栃木営業所	112	60	川崎物産株	芳賀倉庫	14
11	寿堂紙製品工業株	芳賀工場	110	61	日新航空サービス株	芳賀営業支店	13
12	東洋濾紙株	芳賀工場	89	62	東陽倉庫株	東京営業部 宇都宮営業所	12
13	クミ化成株	開発センター	85	63	トヨタL&F栃木株	芳賀台営業所	12
14	関東大協株		80	64	濫澤倉庫株	北関東支店栃木営業所	11
15	株不二ロジカーゴ		77	65	パイオニアエコサイエンス株	L&T CENTER	11
16	三菱UFJ信託銀行	栃木芳賀センター	75	66	藤井建設株	芳賀事業所	11
17	日本梱包運輸倉庫株	栃木営業所	73	67	株ランパック		11
18	東鉄運輸株	宇都宮営業所	70	68	カトーレック株	芳賀営業所	10
19	株宮崎工作所	芳賀工場	68	69	東上ガス株	栃木支店	10
20	株リブドゥコーポレーション	栃木芳賀工場	68	70	毛塚運輸株	宇都宮営業所	9
21	株国際資源リサイクルセンター		65	71	大星電機株	栃木製作所	9
22	株エイテワン	機種開発センター	63	72	稲吉運輸株	宇都宮営業所	8
23	株関東リョーシヨク		62	73	株尾関商店	芳賀工場	7
24	岩田鋼鉄株	芳賀工場	60	74	株光建	宇都宮営業所	7
25	川田工業株	コボテイクス事業部	60	75	ホイテクノ物流株	秋田営業所・宇都宮出張所	7
26	池田興業株	宇都宮支店	59	76	株小川商会	栃木営業所	6
27	関東オリオン株	宇都宮営業所	53	77	株ブライクル		6
28	株伊藤商会	宇都宮工場	52	78	日本パレットプール株	宇都宮支店	5
29	JA全農とちぎパールライス部		51	79	美濃紙業株	芳賀営業所	5
30	株フィアロコーポレーション	栃木工場	51	80	有菊池金型製作所		4
31	株ホットライナー		47	81	日東化工機株	栃木工場	4
32	有田野辺運送店	芳賀工業団地営業所	46	82	有岡田自動車板金		3
33	柳河精機株	テクニカルセンター	39	83	西尾レントオール株	栃木機材センター	3
34	日泉化学株	テクノセンター栃木	36	84	株三共電気商会	宇都宮出張所	2
35	株増田製作所	栃木開発センター	36	85	株マルイフ		2
36	株シバックス	栃木開発センター	35	86	株長府製作所	芳賀工場	
37	ティーエルロジコム株	宇都宮支店	34	87	ソーカーセラー東京		
38	株ホンダロジスティクス	栃木事業所	34	88	株木ヘリポート		
39	株関電工	県東内線営業所	32	89	株コーエイ産業		
40	技研精機株	芳賀工場	29	90	株日本栄養給食協会		
41	株栗崎歯車製作所		29	91	日本通運株	宇都宮東営業所	
42	旭食品株	宇都宮支店	28	92	増山貨物自動車株	芳賀物流センターワイズ	
43	株ネットワークシステムズ	宇都宮ロジステックセンター	28	合計			9,472
44	株こだま		27				
45	柳下技研株	栃木工場	26				
46	株鍍研	栃木営業所	25				
47	協永堂印刷株	栃木事業所	23				
48	株日高精機	宇都宮工場	23				
49	AGCオートモーティブウィンドウ	栃木テクニカルセンター	22				
50	株日新	国際営業第二部北関東事業所	21				

注) 上表は栃木県産業団地立地企業一覧(平成24年度版)を基に作成
企業の並びは従業員数の多い順

表 芳賀高根沢工業団地立地事業所

No.	企業名	工場名	従業員(人)
1	株本田技術研究所	四輪R&Dセンター	9,800
2	株オートテックジャパン		1,195
3	株本田技研工業株	四輪生産企画室	832
4	株ホンダアクセス	栃木研究所	336
合計			12,163

注) 上表は栃木県産業団地立地企業一覧(平成24年度版)を基に作成
企業の並びは従業員数の多い順

3 調査結果の活用

(1) 通勤目的での最低限の需要の精度向上

調査対象事業所の全従業員を対象に、全交通手段(企業バス・路線バス・マイカー・自動二輪車等)からの転換需要を把握する。

表 データ集計イメージ

事業所 No.	回答従業員総数	手段別回答従業員数 (A)					利用すると回答した従業員数 (B)					転換率 (B/A)							
		企業バス	路線バス	自動車	自動二輪・原付	自転車	徒歩	企業バス	路線バス	自動車	自動二輪・原付	自転車	徒歩	企業バス	路線バス	自動車	自動二輪・原付	自転車	徒歩
1																			
2																			
・																			
・																			
36																			
37																			
計																			

転換率 = 利用すると回答した従業員数 (B) ÷ 手段別回答従業員数 (A)

注) 現在の事業所アクセス交通手段からの転換率は、工業団地立地事業所ごとに従業員の居住地と最寄LR T停留場との距離ごとに、現状の交通手段からの転換可能性を、事業所従業員回答を積み上げて算出する。

(2) ピーク時需要量の推定

(1) で把握した転換需要の通勤時間帯分布を把握し、ピーク時需要量を推定する。

(3) 自宅からの距離帯別転換可能性の把握

従業員の居住地からLR Tの停留場までの距離と転換意向との関係を把握することにより、距離帯別転換率曲線を作成し、LR T沿線に存在するその他の企業従業員の転換可能性の推定に役立つ。

【今回調査対象事業所従業員の通勤目的】

【調査対象外の沿線事業所従業員の通勤】

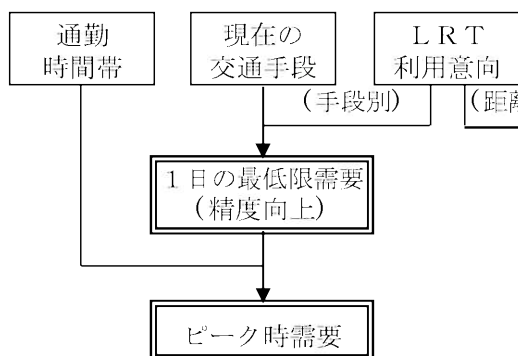
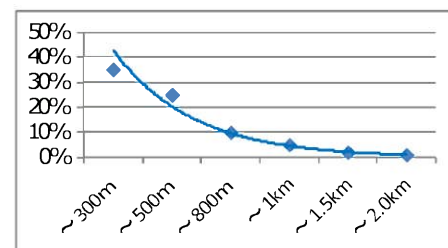


図 調査結果の活用フロー

需要推定の基礎データ



6 図 距離帯別LR T転換率曲線(イメージ)

4 調査項目

- ① 居住地及び最寄りのL R T停留場までの距離
- ② 現在の通勤交通手段と所要時間
- ③ L R T利用意向の有無
L R T利用時の通勤交通手段と所要時間、利用が想定されるL R T停留場名
- ④ 始業時刻と実際の出勤時刻

5 調査方法

(1) 配布回収方法

ア 紙調査票方式

市役所返送型 : 事業所内での配布協力を依頼する
回収は、従業員個人が回答ハガキで返送（市役所宛て郵送返送）

イ Web回答方式(大規模研究系従業員を有する事業所向け)

事業所返信型 : 事業所がインターネット等を活用して配信・返信まで行うことを依頼する
外部返信型 : 事業所内での従業員への調査告知・専用画面アドレス配信を依頼する
回収は、回答用WEB画面への従業員個人個人のアクセスにより回答

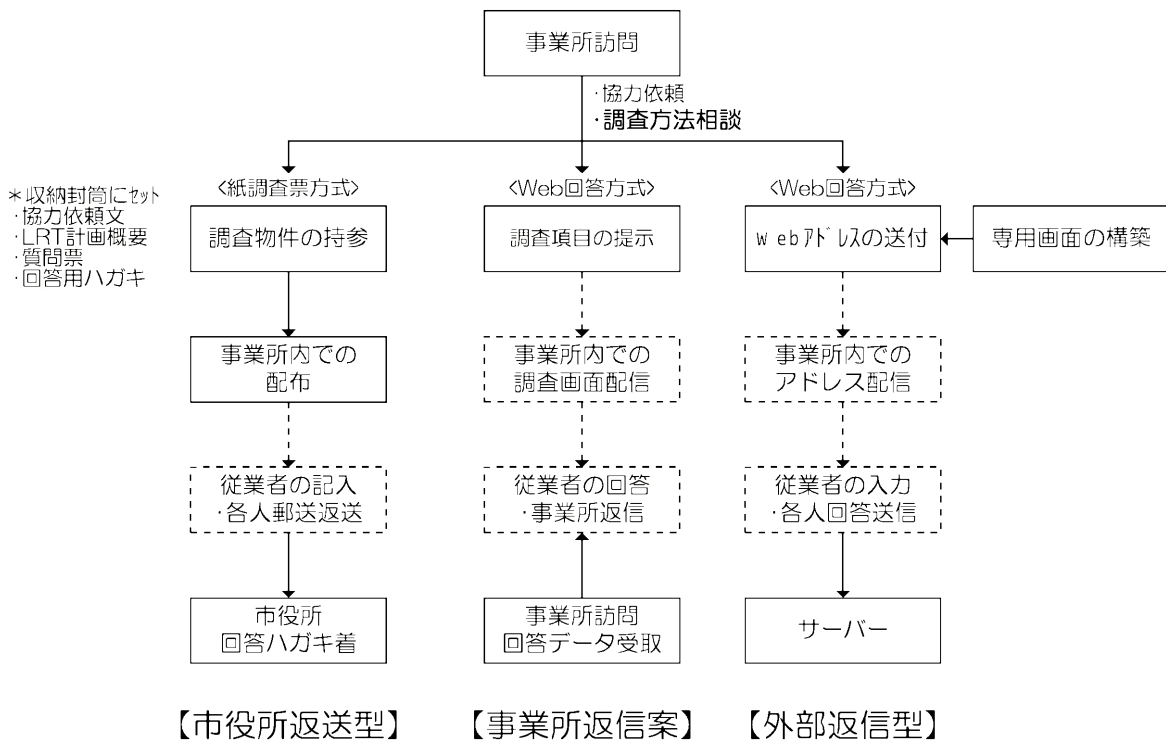


図 調査方法別にみた流れ

(2) 回答のために提示するL R T計画概要(サービス項目)

- ① ルート・停留場位置
- ② 運行時間帯・運行頻度
- ③ 主要区間の所要時間
- ④ 主要区間の運賃

説明資料 LRT計画概要

＝LRTとは＝

LRT(Light Rail Transit:ライトレールシステム)とは、低床式車両の活用や軌道・停留場の改良などにより、従来の路面電車に比べ乗降の容易性、定時性、速達性、快適性、輸送力などの面で優れた特徴を有する次世代型の交通システムで、国内では富山市(右写真)での導入があります。

＝検討しているLRTのイメージ＝

※ここで示すルート・停留場等の計画内容は、アンケート調査を実施するために作成したものであり、確定した内容を示すものではありません。

■検討区間
* JR宇都宮駅東口から芳賀町芳賀高根沢工業団地までを検討区間としています。

■停留場
* 停留場は、市街地では200～500m間隔、郊外部では500m～2.4km間隔を想定しています。

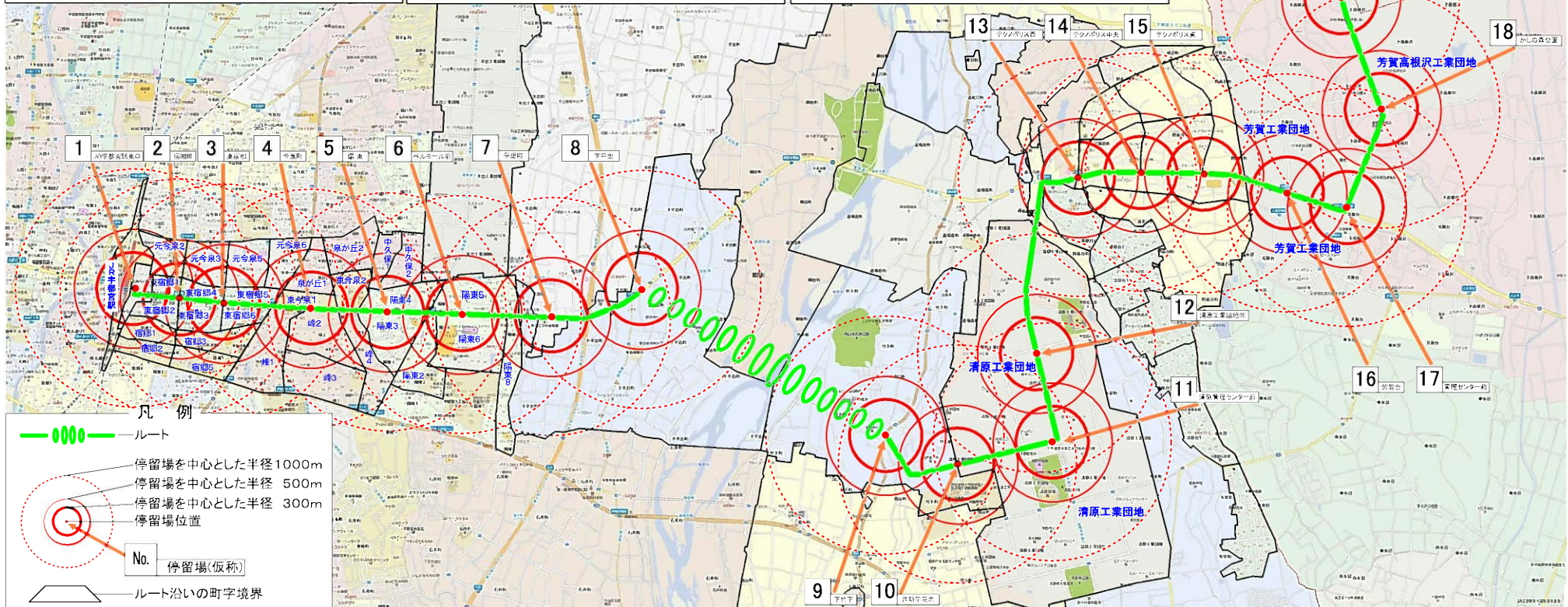
■運行本数
* ピーク時(6～9時・17～19時)は10本/時(6分間隔)、それ以外の時間(9～17時・19～24時)は6本/時(10分間隔)を想定しています。

■主な停留場間の所要時間(※黒字は各停・赤字は快速) 単位:分

停留場	1	6	10	11	12	16	17	18	19
1 JR宇都宮駅東口		11 9	23 17	25 21	27 21	36 28	38	41	43 32
6 ベルモール前			12 8	14 10	16 12	25 19	27	30	32 23
10 作新学院北				2	4	13 11	15	18	20 15
11 清原管理センター前					2	11	13	16	18
12 清原工業団地北						9	11	14	16 11
16 芳賀台							2	5	7 4
17 管理センター前								3	5
18 かしの森公園									2
19 本田技研北門									

■主な停留場間の運賃(※通勤定期は下表の60%を想定) 単位:円

停留場	1	6	10	11	12	16	17	18	19
1 JR宇都宮駅東口		150	300	300	300	350	400	400	400
6 ベルモール前			200	250	250	300	350	350	350
10 作新学院北				150	150	250	250	250	300
11 清原管理センター前					200	200	200	250	250
12 清原工業団地北						200	200	200	250
16 芳賀台							150	150	150
17 管理センター前								150	150
18 かしの森公園									150
19 本田技研北門									



調査票

※通勤先所在地は事業所識別No.を予め印字等しておくことで把握する。

問1 お住まいについてうかがいます。

問1-1 ご自宅の住所。

(郵便番号7ケタ) (市区町村) (町字) (丁目) (番)
 []-[]-[]-[]-[]-[]-[]

記入例1) [321-0904] [宇都宮市] [陽東] [3丁目] [10番]
 記入例2) [321-0901] [宇都宮市] [平出町] [] [3765番]

問1-2 ご自宅から最寄りのLRT停留場までの距離。

※同封資料: LRT計画概要をご覧ください。

1. 沿線に住んでいる 2. 沿線に住んでいない →問2へ
 ※概ねの距離(100m単位で構いません)をご記入ください。
 約 [] m

※芳賀町以東など計画区間の利用が考えられない地域にお住まいの方は、これで終わりです。
 (新幹線利用でJR宇都宮駅を經由して通勤されている方は引き続き回答をお願いします)

問2 現在の通勤行動についてうかがいます。

問2-1 始業時刻は決まっていますか。

1. 決まっている → []時 []分
 2. 決まっていない(フレックスタイム制や日勤・夜勤シフトがある場合など)

問2-2 出勤時刻は何時頃ですか。

注) 始業時刻が複数の場合は、午前出勤日のことをご記入ください。

[]時 []分頃に事業所に到着

問2-3 通勤交通手段は何ですか。手段ごとの所要時間は何分程度ですか。

注1) 複数の交通手段を利用して通勤されている方は、利用順にご記入ください。

注2) 日によって異なる場合は、最も多く利用されている手段(組み合わせ)をご記入ください。

自宅 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 通勤先
 []分 []分 []分 []分

記入例1) 自宅からマイカーで通勤している方

自宅 ⇒ [4] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 事業所
 [45]分 []分 []分 []分

記入例2) 自宅からマイカーで宇都宮駅に行き、企業バスに乗り換え通勤している方

自宅 ⇒ [4] ⇒ [6] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 事業所
 [15]分 [35]分 []分 []分

記入例3) 自宅付近から路線バスで鉄道駅に行き、鉄道で宇都宮駅に行き、路線バスで通勤している方

自宅 ⇒ [5] ⇒ [7] ⇒ [5] ⇒ [] ⇒ 事業所
 [10]分 [25]分 [25]分 []分

交通手段

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. オートバイ・原付
4. 自動車
5. 路線バス
6. 企業バス
7. 鉄道

問3 LRTが運行したときの利用についてうかがいます。

問3-1 LRTが運行した場合、通勤交通手段として利用しそうですか。

注) 停留場位置、運行本数、所要時間、運賃などは同封資料: LRT計画概要によりご記入ください。

注) この問では、「勤務先からLRT利用に伴う公共交通定期代相当額が全額支給される」、

「JR宇都宮駅始発で、1回乗車で勤務先に行ける企業バス・路線バスがない」ものとしてご記入ください。

1. 快速がなくとも利用する 3. 利用しない
 2. 快速があれば利用する 4. 実際に運行しないとわからない
 3. と4.の方はこれで終わりです。

問3-2 LRT利用で問2-3の通勤交通手段・所要時間はどのようにかかりますか。

自宅 ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ [] ⇒ 通勤先
 []分 []分 []分 []分

交通手段

1. 徒歩のみ
2. 自転車
3. オートバイ・原付
4. 自動車
5. 路線バス
6. 鉄道
7. LRT

問3-3 問3-2で利用されるLRTはどの停留場で乗車・降車されますか。

同封資料: LRT計画概要の停留場No.(1~19)をご記入ください。

No.[]で乗車、No.[]で降車

回答ハガキ

料金受取人私郵便

宇都宮中央
郵便局承認
XXXX

差出有効期間
平成 26 年 Y 月
ZZ 日まで

320-XXXX

(受取人)

宇都宮市旭一丁目一番五号

(宇都宮市役所)

宇都宮市 総合政策部 LRT整備推進室 行

① 事業所識別No.を印字して
おき、従業員の事業所名
記載行為を省略する

注) 芳賀工業団地、芳賀高根沢工業団地向けには、「321-XXXX 芳賀町大字祖母井 1020 番地 (芳賀町役場) 芳賀町 総合企画部 企画課 行」
「宇都宮東郵便局承認 XXXX」とする。

LRTの利用意向に関するアンケート

問 1-1 ご自宅の住所
(郵便番号7ケタ) (市区町村) (町字) (丁目) (番)
[]-[]-[]-[]-[]-[]-[] []-[]-[]-[]-[]-[] []-[]-[]-[]-[]-[] []-[]-[]-[]-[]-[]

問 1-2 ご自宅から最寄りのLRT停留場までの距離
1. 沿線に住んでいる 2. 沿線に住んでいない(問2-1へ
※概ねの距離(100m単位で構いません)をご記入ください。
約 [] [] m

問 2-1 始業時刻
1. 決まっている → []時 []分
2. 決まっている(ワックスや床や日勤・夜勤がある場合など)

問 2-2 出勤時刻
[]時 []分頃に事業所に到着

問 2-3 通勤交通手段と所要時間
自宅⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ 通勤先
[]分 []分 []分 []分

問 3-1 LRT運行時の利用
1. 快速がなくとも利用する 3. 利用しない
2. 快速があれば利用する 4. 実際に運行しないとわからない
3. と 4. の方はこれです。

問 3-2 LRT利用時の通勤交通手段と所要時間
自宅⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ []分 ⇒ 通勤先
[]分 []分 []分 []分

問 3-3 乗車・降車停留場No.
[No. []]で乗車、[No. []]で降車

ご協力ありがとうございました。
最寄りのポストにそのままご投函下さい(切手は不要です)。

(参考) Web 回答方式(外部返信型)における調査

- ① 従業者は、事業所総務部門等から配信されたアドレス(<http://www.xxxx/yyyy/zzzz.html>)をクリックすると、調査専用画面にアクセスできる。
- ② 専用画面は、ログイン画面、質問・回答画面の2画面種類とする

<ログイン画面>

LRTの利用意向に関する調査へのご協力をお願い

日頃より、.....
.....ご協力いただきますようお願い申し上げます。

本調査画面のアドレスとともに送信されている事業所番号を半角数値で入力ください

事業所番号 :

例 : 301

<質問・回答画面(部分)>

LRTの計画概要はこちらをご覧ください

問1 お住まいについてうかがいます。

問1-1 ご自宅の住所 (郵便番号7ケタ)	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> - <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>
問1-2 ご自宅から最寄りのLRT停留場までの距離	<input type="checkbox"/> 沿線に住んでいる <input checked="" type="checkbox"/> 沿線に住んでいない
※概ねの距離	<input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/> <input type="text" value=""/>

次へ

リンクボタン

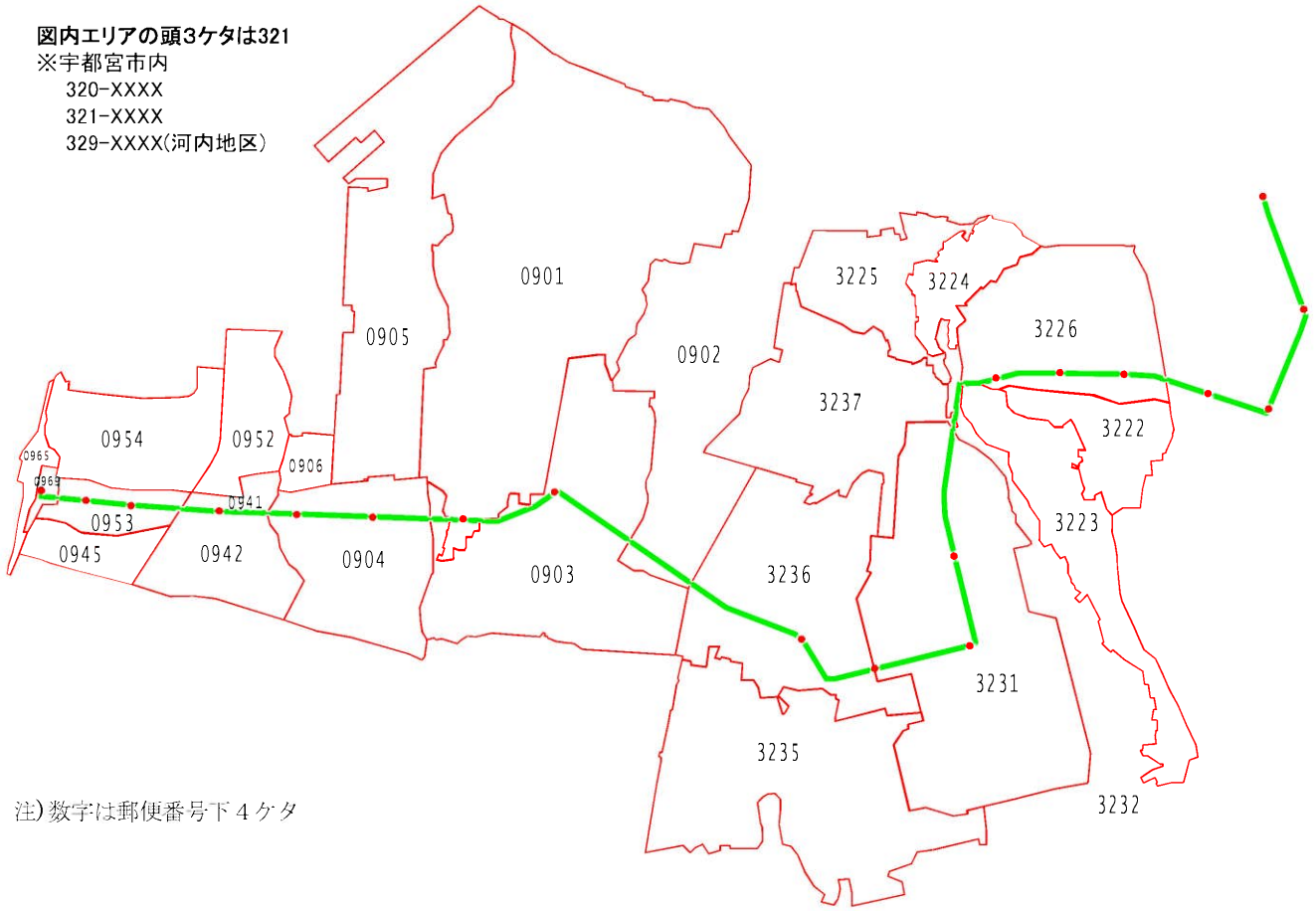
- <フルダウン>
- 0
 - 1
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5
 - 6
 - 7
 - 8
 - 9

<選択形式>
該当チェック

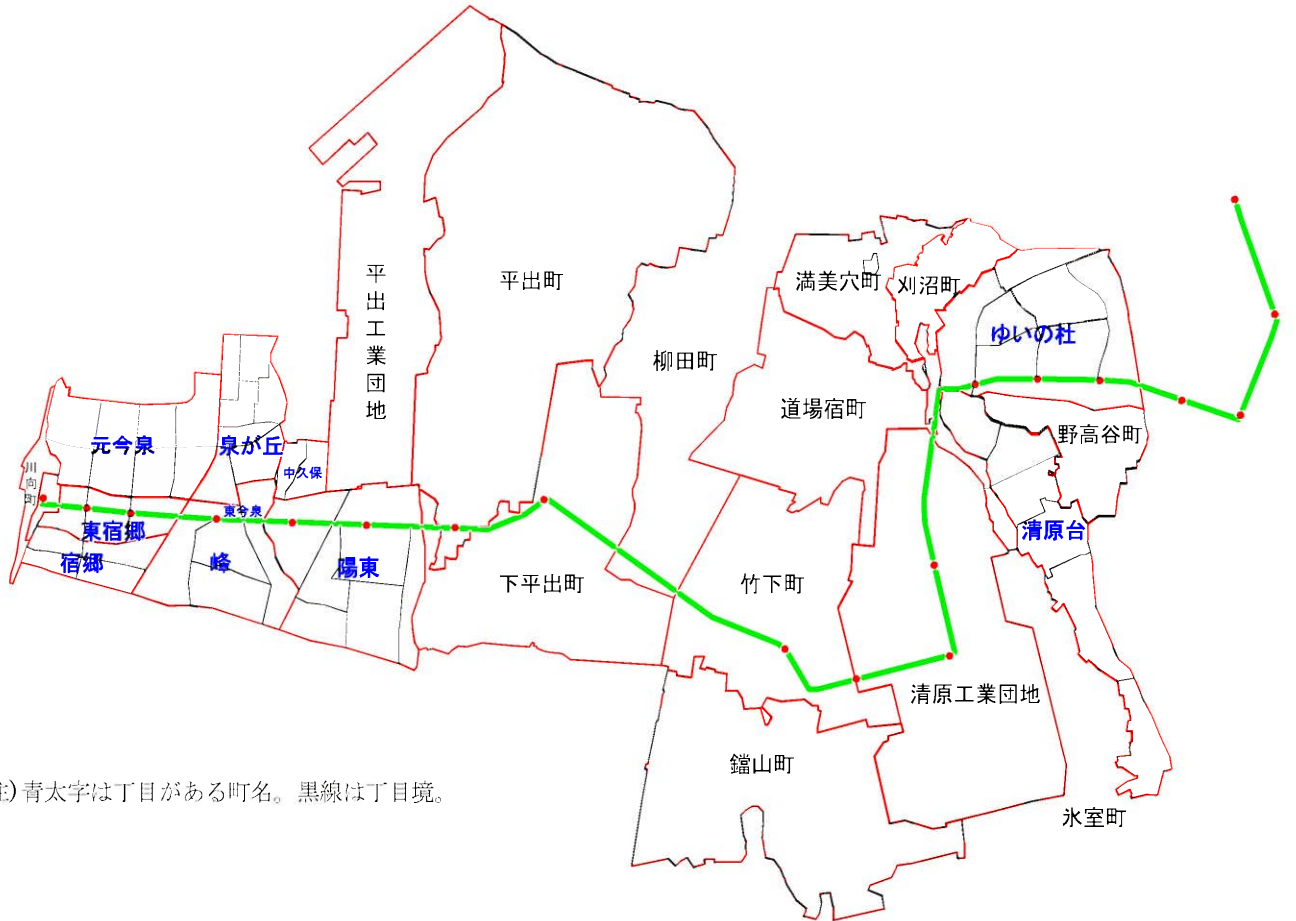
- <フルダウン>
- 100m未満
 - 100~200m未満
 - 200~300m未満
 - ・
 - ・
 - ・
 - 900~1,000m未満
 - 1,000~1,500m未満
 - 1,500~2,000m未満
 - 2,000m以上離れている

1. 郵便番号7ケタのエリアサイズ

図内エリアの頭3ケタは321
 ※宇都宮市内
 320-XXXX
 321-XXXX
 329-XXXX(河内地区)



注) 数字は郵便番号下4ケタ



注) 青太字は丁目がある町名。黒線は丁目境。

2. 所要時間設定の考え方

(1) 所要時間短縮の方策

所要時間については、自動車等からの転換を促進する上で、特に重要な事項であることから、その短縮を図る方策について検討

・ 快速運行

J R宇都宮駅東口から以東方向へのピーク時において主な利用が想定される停留場のみ停車する快速運行の検討

- 「快速運行車両」が「各停留場に停車する車両」を安全に追い越すために必要となる追い越し施設や運転保安設備等を設けるなどの対応が必要
(起終点となる停留場のほか、停車する停留場を4か所設定)

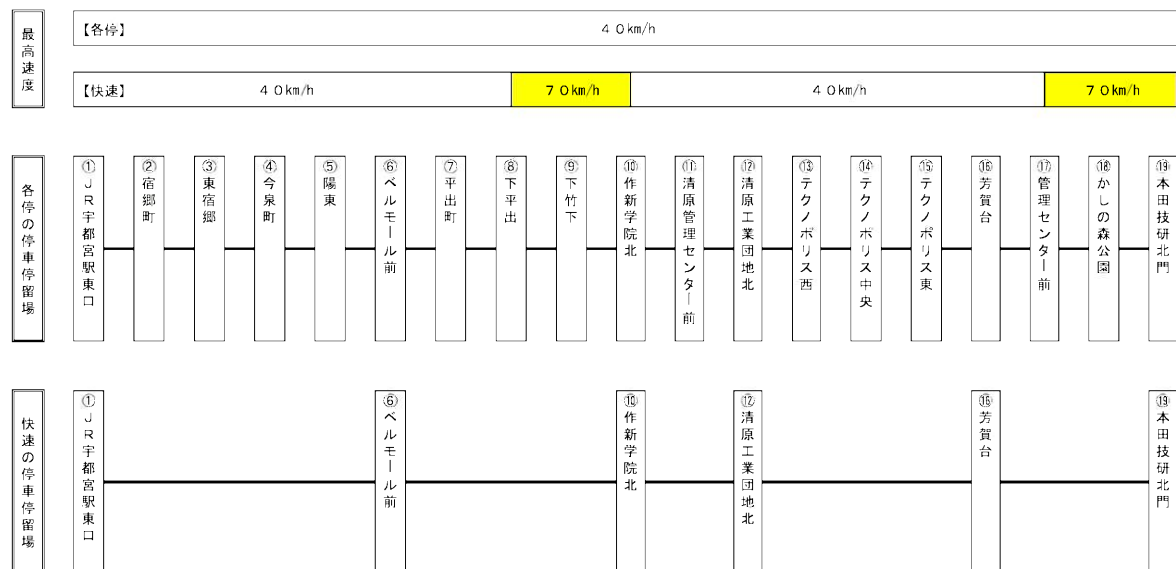
・ 停留場間の速度向上

専用軌道の整備を想定している区間の最高速度設定の検討

- 軌道法上の最高速度規定、時速40キロメートル(軌道運転規則第53条)を超える国の認可を取得する必要がある、専用軌道区間に運転保安設備等を設けるなどの対応が求められる。
(専用軌道区間の最高速度を時速70キロメートルに設定)

(2) 想定される運行形態

区 間	各停	快速運行 案①	快速運行 案②
J R宇都宮駅東口 ～ 本田技術研究所北門 (約 15km)	・最高速度40km/h	・同左 ・停車停留場 起終点ほか4か所	・最高速度70km/h ・同左
所要時間	43分	37分	32分



(3) 停留場間の所要時間

所要時間表 <各停>

JR宇都宮駅東口																		
1	宿郷町																	
3	2	東宿郷																
6	5	3	今泉町															
8	7	5	2	陽東														
11	10	8	5	3	ベルモール前													
14	13	11	8	6	3	平出町												
17	16	14	11	9	6	3	下平出											
21	20	18	15	13	10	7	4	下竹下										
23	22	20	17	15	12	9	6	2	作新学院北									
25	24	22	19	17	14	11	8	4	2	清原管理センター前								
27	26	24	21	19	16	13	10	6	4	2	清原工業団地北							
30	29	27	24	22	19	16	13	9	7	5	3	テクノポリス西						
32	31	29	26	24	21	18	15	11	9	7	5	2	テクノポリス中央					
34	33	31	28	26	23	20	17	13	11	9	7	4	2	テクノポリス東				
36	35	33	30	28	25	22	19	15	13	11	9	6	4	2	芳賀台			
38	37	35	32	30	27	24	21	17	15	13	11	8	6	4	2	管理センター前		
41	40	38	35	33	30	27	24	20	18	16	14	11	9	7	5	3	かしの森公園	
43	42	40	37	35	32	29	26	22	20	18	16	13	11	9	7	5	2	本田技研北門

所要時間表 <快速運行 案①>

JR宇都宮駅東口													
宿郷町													
東宿郷													
今泉町													
陽東													
9	ベルモール前												
平出町													
下平出													
下竹下													
19	作新学院北												
清原管理センター前													
23	清原工業団地北												
テクノポリス西													
テクノポリス中央													
テクノポリス東													
31	芳賀台												
管理センター前													
かしの森公園													
37	本田技研北門												

所要時間表 <快速運行 案②>

JR宇都宮駅東口													
宿郷町													
東宿郷													
今泉町													
陽東													
9	ベルモール前												
平出町													
下平出													
下竹下													
17	作新学院北												
清原管理センター前													
21	清原工業団地北												
テクノポリス西													
テクノポリス中央													
テクノポリス東													
28	芳賀台												
管理センター前													
かしの森公園													
32	本田技研北門												

3. 運賃設定の考え方

* 上限ありの対距離制

- ・ ~ 3.0km 150円均一
- ・ 3.0~ 7.0km 2kmごとに 50円加算
- ・ 7.0km~ 3kmごとに 50円加算

表 今回設定している運賃表

JR宇都宮駅東口
150 宿郷町
150 150 東宿郷
150 150 150 今泉町
150 150 150 150 陽東
150 150 150 150 150 ベルモール前
200 200 150 150 150 150 平出町
200 200 200 150 150 150 150 下平出
250 250 250 250 200 200 200 150 下竹下
300 300 250 250 250 200 200 200 150 作新学院北
300 300 300 250 250 250 200 200 150 150 清原管理センター前
300 300 300 300 300 250 250 200 150 150 150 清原工業団地北
350 350 350 300 300 300 300 250 200 200 150 150 テクノポリス西
350 350 350 300 300 300 300 300 200 200 200 150 150 テクノポリス中央
350 350 350 350 300 300 300 300 250 200 200 150 150 150 テクノポリス東
350 350 350 350 350 300 300 300 250 200 200 150 150 150 芳賀台
400 350 350 350 350 350 300 300 250 250 200 200 150 150 150 150 管理センター前
400 400 400 350 350 350 350 300 300 250 250 200 150 150 150 150 150 かの森公園
400 400 400 400 350 350 350 350 300 300 250 250 200 200 150 150 150 150 150 本田技研北門

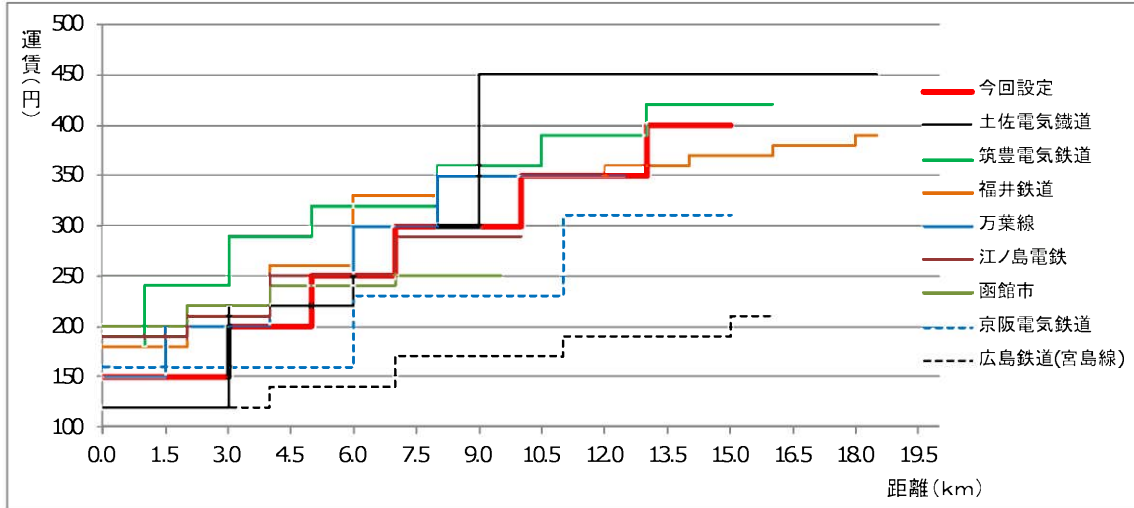


図 運賃事例

注) 日本の路面電車ハンドブックを基に作成(区間制については当該区間距離を算出して図化している)

表 均一運賃事例

運賃	該当事業者(路線)	キロ程
100円・140円	岡山電気軌道	4.7km
100円・150円	広島電鉄(市内線)	19.0km
120円	長崎電気軌道	11.5km
140円	東急(世田谷線)	5.0km
150円	豊橋鉄道	5.424km
	伊予鉄道(市内線)	9.6km
	熊本市	12.1km
160円	東京都(荒川線)	12.2km
	鹿児島市	13.145km
170円	札幌市	8.465km
200円	富山地方鉄道(富山軌道線)	7.3km
	富山ライトレール	7.6km
	京福電気鉄道(嵐山本線・北野線)	11.0km
	阪堺電気軌道	18.7km

表 競合バス運賃等

区 間	運 賃	備考(対応 IRT 停留所)	運行事業者
宇都宮駅東口 ～ ベルモール	150円	ベルモール前	関東自動車
JR宇都宮駅 ～ ベルモール前	260円	ベルモール前	東野交通
JR宇都宮駅 ～ ベルモール前	260円	ベルモール前	JRバス関東
JR宇都宮駅 ～ 清原球場	560円	清原管理センター前	東野交通
JR宇都宮駅 ～ 清原球場	560円	清原管理センター前	JRバス関東
JR宇都宮駅 ～ 芳賀ハスターミナル	770円	芳賀工業団地	JRバス関東

4. スケジュール（案）

	3月中旬	3月下旬	4月上旬	4月中旬	4月下旬	5月上旬	5月中旬	5月下旬
プレ調査の実施 ・事業所との調整 ・配布回収 ・入力・集計	■	■						
調査の実施 【紙調査票方式】 ・事業所との調整 ・物件印刷等準備 ・事業所宛送付 ・従業員回答投函	■	■	■	■	■			
調査の実施 【外部WEB方式】 ・事業所との調整 ・システム構築 ・事業所宛配信 ・従業員回答送信	■	■	■	■	■			
調査の成果 ・集計・転換率算出					中間報告	■	■	■

※プレ調査：清原工業団地の1企業に対し実施中